

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかわりと舟唄のこだまする村をつくらう

とざわに議金だま！

2025 No. 156

2025 年 6 月定例会



2p 6月定例会 補正予算1億9,600円を可決！総額49億900万円に

3p 常任委員会報告 他

4~12p 一般質問 村政を問い直す！ 8議員登壇

13p 高屋トッナルを視察 議会日誌（4月～6月）

14p 次代を創る若き経営者 表紙の言葉・編集後記



一般会計補正予算

1億9,600万円を可決し、 総額49億900万円に

令和7年

6月
定例会

6月定例会は6月6日から10日までの5日間の会期で行われた。議案は、令和6年度一般会計繰越明許費の報告1件、令和6年度特別会計繰越明許費の報告2件、令和7年度一般会計補正予算1件、令和7年度特別会計補正予算2件、条例改正2件、工事請負契約の一部変更1件、固定資産評価審査委員の選任1件、契約締結1件を可決した。

一般質問には、8議員が登壇し、蔵岡地区防災集団移転促進事業の進捗状況、昨年の豪雨災害に伴う現況、住民の不安解消に向けた豪雨対策、障害者支援施設、集団移転、自宅で出来る体操等で健康への促し、少子化対策、国民健康保険組合・最上地区広域連合について等々多岐にわたる議論が交わされた。

議案等の内容

繰越明許費総額

17億8567万円

歳出予算の経費のうち、予算成立後、年度内中に事業を完成することが困難と見込まれ、7年度へ繰越して実施されることになったものです。

一般会計

旧古口小学校用地宅地造成工事等15件、15億7733万円

簡易水道事業会計

災害査定及び設計業務等2

件、3100万円

下水道事業会計

古口公共第1マンホールポンプ制御盤災害復旧工事等3件、1億7734万円

一般会計補正予算
(第1号) 概要

今回の補正では、公共土木施設災害復旧費負担金及び各種交付金、補助金、委託金の内示額による事業の補正と東京都北区との子ども交流事業、道徳教育地域支援事業等を実施する予算額が計上されました。

歳入

(補正額1億9600万円)
災害復旧費国庫負担金1億8378万円、前年度繰越金1357万円、コミュニティ助成事業費助成金120万円などを増額しました。

歳出

(補正額1億9600万円)
総務費

草薙地区再開発事業土地購入費30万円、電算システム事業LGWAN特定通信許可システム構築業務委託料200万円、地域づくり交付金200万円、東京都北区との子ども交流事業費54万円、旧古口小学校用地宅地造成開発行為変更許可申請書作成業務委託料124万円など約801万円増額しました。

民生費

介護保険特別会計操出金38万円を増額しました。

衛生費

環境衛生事業費蔵岡輪中提災害ゴミ処分手数料42万円、地域おこし協力隊事業費(鳥獣対策)57万円など102万円を増額しました。

農林水産業費

全国中山間地域振興対策協議会負担金2万円、多面的機能支払交付金事業認定農用地確認業務委託料47万円など、約59万円を増額しました。

土木費

側溝等清掃業務委託料200万円、橋梁維持事業費測量設計委託料300万円など、約6372万円を増額し、橋梁維持事業費工事請負費(補)900万円が減額となりました。

教育費

道徳教育地域支援事業費21万円、社会教育総務費330万円を増額しました。

災害復旧費

公共土木施設災害復旧事業費工事請負費(補)1億

8510万円を増額しました。

介護保険事業

介護保険料の算定における基準の見直しによる介護保険システム改修に必要な経費、歳入歳出それぞれ38万円を追加しました。

下水道事業

人事異動に伴う人件費、歳入歳出それぞれ104万円を追加しました。

条例改正

1 戸沢村教育施設の使用に関する条例の一部を改正する条例の制定

戸沢村中央公民館の調理室に冷暖房設備を設置したことに伴い、使用料が変わりました。

2 戸沢村いきいき100年の里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

ゲートボール場及びパタゴゴルフ場の老朽化及び使

用実績がないことから名称を多目的広場に変更しました。

契約変更について

旧古口小学校用地宅地造成工事の契約金が、事業の最終調整により5940万円が6009万円に変更されました。

除雪機械購入契約の締結について

除雪ドーザ（8t級）1台を新規購入したものを

契約金額 1573万円
契約相手 寒河江重車輛株式会社新庄営業所

人事案件

任期満了による戸沢村固定資産評価審査委員会委員の再任に同意

富澤 安雄 氏

住所 向名高地区

任期 令和10年8月8日

一般会計補正予算 3億4,700万円を計上し 総額52億5,600万円に

令和7年7月1日に行われ、4つの議案すべてが可決されました。

○令和7年度戸沢村一般会計補正予算（第2号）

○戸沢村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○戸沢学園学習者用端末等調達業務委託契約の締結について

○工事請負契約の締結について

令和7年

第3回臨時会

常任委員会報告

産業建設常任委員会

6月9日常任委員会を開催しました。建設水道課課長より、被災地区道路の復旧工事の進捗状況等、産業振興課課長より揚水機場稼働状況等の報告を受けました。また、集団移転については、一日も早い集団移転実現のため、議会としても協力していくことを確認しました。

産業建設常任委員会

委員長 柿崎 英矢



総務文教常任委員会

6月9日常任委員会を開催し、今後の協議事項を確認しました。ふるさと納税については、寄付金増額を目指した仕組みづくり、返礼品の米の確保について等の課題があげられました。また、独居老人世帯の除雪支援については、担い手の確保が課題であることや、主体となる地区会への支援が必要であると意見が出され、今後の課題に繋がっていきたいと思います。

総務文教常任委員会

委員長 安食 勇



村政を問い、正す!

8名の議員が一般質問



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかチェックするもの。

I 伊藤 一 議員…………… 5P

- 蔵岡地区防災集団移転促進事業の進捗状況について
- 鳥獣対策について
- 村長の村民との公約について

II 岡田 孝一 議員…………… 6P

- 昨年の豪雨災害に伴う現況について
- 村に於いて各課の委託・委嘱等人件費の支払い日額状況について

III 加藤 政一 議員…………… 7P

- 住民の不安解消に向けた豪雨対策は
- 児童・生徒の屋外での安全対策は
- 物価高騰による給食の対策は

IV 荒木 誠 議員…………… 8P

- 福祉の里とざわ障害者支援施設について
- 高麗館活性化について

V 荒川 和明 議員…………… 9P

- 集団移転について
- 小水力発電所について
- 子どもの健康について
- 働き方改革について

VI 安食 勇 議員…………… 10P

- 自宅でも出来る気持ちの良い体操等で健康への促しは
- 停電対応策とした発電機の在り方は
- 安全に向けた早期実現への防災集団移転の取り組みは
- 人口減少、若者定住対応について

VII 阿部 光樹 議員…………… 11P

- 少子化対策について
- 高齢者等の対応について

VIII 柿崎 英矢 議員…………… 12P

- 国民健康保険組合・最上地区広域連合について
- 豪雨災害、集団移転の進捗状況について

蔵岡地区防災集団移転促進 事業の進捗状況について

問 防災集団移転の進捗状況について。

ていきます。

鳥獣対策について

問 昨年度の成果と今年度の対応策は。

村長 事業の実施にあたって防災のための集団移転促進事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律に基づき事業計画を策定しなければなりません。計画策定に向けて、調査等行っていくことから、事業概要及びスケジュールについて周知を行ったところです。宅地の買取価格の検討・建物の補償等に係る外観調査や移転先となる住宅団地の検討・平面計画の作成等行っ

村長 昨年度捕獲実績で報告しているのは、熊2頭です。「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業」で持続的な追い払い体制の構築がなされるよう実施します。

一般質問



伊藤 一 議員

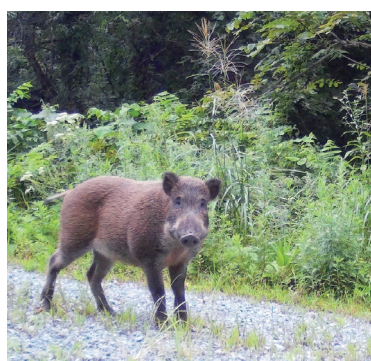
問 猿の捕獲はどのように行っていくか。

村長 捕獲も手段の一つと考えておりますが、各地区会と情報共有しながら対策を構築していきたいと考えています。



問 熊・猿・猪の捕獲時の報酬は。

村長 国の交付金事業の鳥獣被害対策の協議会を立ち上げたいと考えています。各種補助メニュー等を検討し、捕獲時の報酬について近隣市町村等参考にしながら協議していきます。



村長の村民との 公約について

問 就任して2年3か月の振り返りを過ぎ、公約の実現はどの程度か。

村長 「村民と共に誇れるむらづくりを目指して」をスローガンに對話、公平、誠実を柱に結びつきの強い村民性を持つ戸沢村に、自

信と誇りを持ち、次の世代に引き継ぐことが大きな務めです。

自然災害に備え、みんなが安心して暮らせる村づくりでは、豪雨災害を教訓に危険箇所の再点検を行っており、関係機関に強く要望していきます。

将来世代の持続可能な生活の実現に向けて、戸沢学園の給食、保育園の主食費を無償化し、ICT教育を推進するため、環境整備を進めていきます。

子育て応援住宅については、分譲地の整備が進められているところです。未来につながる産業振興で古口地区の圃場整備、他地区においても地域の機運醸成が大事だと考えています。畑作振興をはかり、担い手の確保や新規就農者への支援強化や耕畜連携をすすめていきます。

蔵岡地区の復興を一丁目一番地と捉え、防災集団移転促進事業の完成に向け努力し、限りある財政を見直しながら公約実現に努力していきます。

一般質問



岡田孝一 議員

昨年の豪雨災害に伴う 現況について

問 蔵岡地区の方々が入居している仮設住宅の無償使用期間が2年ですが、居住している方々にとっては、移転計画や移転補償の詳細が示されない状況の中で、使用期限2年後の方向性に不安が多いことと思います。8月のお盆には、家族や親せきが集まり、今後について話し合おうと思います。村の人口減少が著しい状況の中で、村として早急に方向性を示すべきだと思います。村の考えと現時点で県との協議状況は。

村長 行政報告でも触れましたが、現在応急仮設住宅には、28世帯56名、民間借上げ14世帯34名、公営住宅9世帯40名の方々が避難生活を送られています。

この仮設住宅の取り扱いについて、5月29日に県と貸与期間終了後の活用について、意見交換を行い、仮設住宅としての貸与期間は、令和8年10月10日までとなっており、期間の延長は制度上難しいと報告を受けています。

その一方で、仮設住宅は山形県が、建築から解体ま

でを含めたリース契約を締結していますが、解体せずに無償譲渡も想定しており、今後県と情報共有を行いながら、検討を進めていきます。



村に於いて各課の委託、委嘱等件費の支払い日額状況について

問 部活動の外部委託は。

共育課長 外部指導員は、1時間あたり1600円です。他に、スポーツクラブに委託しているものもあります。



問 他にありませんか。

共育課長 学校図書館管理は、1時間あたり1000円です。



問 各課の委嘱等件費は統一した体系や算定に見直す必要があると思うが考えは。

村長 今後、内部において委員報酬等検討委員会を設置し、各課の状況を把握し、基準や単価等を検討します。

住民の不安解消に向けた

豪雨対策は

問 今後の豪雨災害に対し古口自治会総会で、不安の声が多く出され、不安解消に向けた対策は。

よる洪水時の水位低下を見込んでます。

村長 古口地区の水害対策は、坊の沢川の内水対策として「古口排水機場操作点検業務」を適正に行い、排水ポンプ車の配置位置を変更し効率的に排水作業ができるように調整してます。

問 河川からの水の侵入と「古口特殊堤防」が出来て54年が経過しているが、経年劣化の対策は。

危機管理課長 角川堤防のパイピング現象の箇所は確認をしています。県の河川管理者と対応について協議し進めて行きます。特殊堤

は、JR管理の流雪溝の対策、水門の管理についても管理者による万全な対応を確認してます。6年度から5か年計画で河道掘削に

は、今年度調査点検し、調査結果に基づいて、対策が図られるので、河川事務所から報告があると思います。

一般質問



加藤政一 議員

問 最上川の上流域の堤防が嵩上げされており、当然中流、下流域の水位が上昇します。今後の対策は。

村長 河道掘削工事が下流域から進められ、状況によつては、中流域も掘削すると聞いています。今後、想定される事について検証し、要望活動も含めて、関係機関と連携を図り適切に進めて行きます。



J R管理の流雪溝

児童・生徒の屋外での安全対策は

問 奈良市での落雷による事故がおきました。児童、

生徒の通学時や屋外活動の指針と安全対策は。

教育長 文科省の「学校における危機管理の手引き」に基づき指導をし、部活動時は、県の部活動の在り方に関する方針に基づき指導しています。また、登下校については、天気予報を基に登校時刻を遅らせたり、保護者での送迎をお願いしています。

問 携帯型雷検知器を配備する考えは。

教育長 高価な物でない様なので検討します。

物価高騰による給食の対策は

問 米価の高止まりや、物価高騰が続く中での対策は。

村長 主食の米・パンの値上がりや、色々な食材の値上がりの中で、栄養教諭の努力と工夫で栄養価が落ちないようにしています。給

食も学びの場であり、これからも継続していく必要があります。

問 今の答弁を受け、今後も安全でおいしい給食の提供に向けての調理員体制は。

村長 会計年度任用職員が1名不足で正職員2名での5人体制です。継続して募集していきます。



一般質問



荒木 誠 議員

福祉の里とざわ
障害者支援施設について

問 障害者優先調達推進法
についての村の考えは。

り、目標設定について、前
年度の実績を上回るように
設定しています。

村長 「障害者優先調達推
進法」に基づき、村では、
障害者就労施設等から物品
等の調達方針を作成してお

問 就労支援、販路拡大の
考えは。



村長 障害者が生きがいを
もち、安心して暮らせるよ
うに、村では最上障害者・
就業生活支援センターと連
携し、就労促進の相談や情
報提供の充実に努め、障害
の種別や程度に応じ、最上
管内に所在する障害者就労
支援事業所と協力し、支援
を行っています。販路拡大
については、商品の内容や
販売日時等が記載してある
チラシ等があれば、事前に
庁舎内で配布することが可
能です。

問 今後の障害者福祉・住
環境整備の考えは。

村長 健康福祉課内にある
母子保健部門や学校と専門
機関とも連携し、子どもの
発達の遅れや障害の早期発
見と早期療育につなげてい
きます。住環境整備につい
ては、国庫補助や民間補助
を受けて行う「社会福祉施
設等整備事
業」があり、
施設の増改
築などが対
象です。



高麗館活性化について

問 売店整備、テラスの考
えは。

村長 今後の方向性を検討
する目的で、サウンディン
グ調査を行い、その結果を
受け整備方針の検討を進め
ます。

問 高麗館傾斜地に人生の
記念植樹の考えは。

村長 植樹、その後の管理
を考えると単年度ではなく
10年20年にも及ぶ事業が見
込まれます。記念植樹を行
うことで訪れる方が増え、
売り上げが増えることも期
待できますが長期的な取り
組みとなるので検討します。

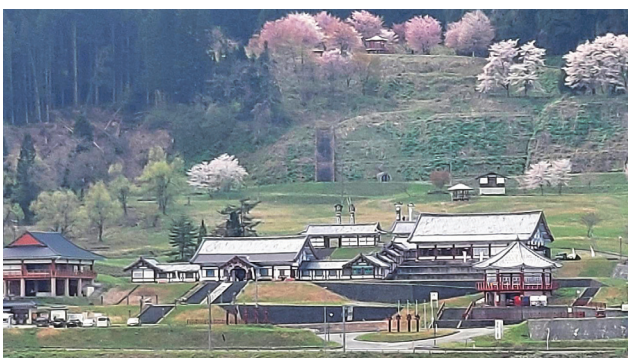
問 アジア学院と連携した
農業研修の現状は。

村長 連携は現在も続いて
いますが、コロナ禍以降、
交流事業は開催できず、今
後、協議と調整を行う見込

みです。

問 戸沢学園の国際交流と
して、なぜ韓国交流ではな
く台湾交流なのか。

教育長 英語学習の一環と
して、舟番所に来た外国人
に英語で村を紹介する実践
を行った時に、ほとんどの
方が台湾からの観光客であ
ったことで台湾交流になり
ました。姉妹校の話題も出
てきているので、教育委員
会としても支援していく必
要があると考えています。



一般質問



荒川和明 議員

村長 移転先地については、災害の危険性や日常生活の利便性等総合的に評価し住民の意向を確認する予定となっております。

集合住宅等が必要か住民に確認したうえで判断したいと思います。

一刻も早い移転をめざし

問 移転場所を示して地区の方の意向を聞くのはどうか。

移転場所に村営住宅を建てる事は計画しているのか

移転が完了するのはいつ頃になるのか見通しはどうか。



蔵岡入口

ていきます。

集団移転について



大蔵村升玉小水力発電所パンフレット引用

村長 新庄商工会より説明を受けました。観光協会への具体的提案はない状況です。提案等いただいた際に対応したいと思います。

問 角川地区に小水力発電が計画されていますが村、商工会、観光協会はどの様に関わっているのか。

小水力発電所について

村長 9月12日に専門家の先生が授業をする予定です。また、「きずなプロジェクト」という活動を行っています。「自他を大切にしながら自分らしい生き方ができる児童生徒」を育てていきます。

スクールカウンセラーは2名配置しています。

保護者との面談も行っており、問題の未然防止に努めています。

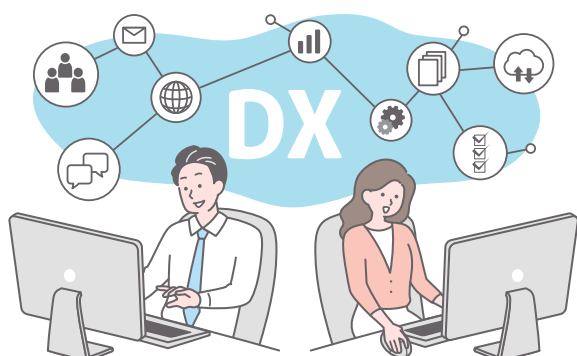
問 日本の子どもの心理的な健康は世界でも最低レベルにありますが、戸沢学園においてはどの様な対策がとられているか。また、スクールカウンセラー等の配置はあるか。

子どもの健康について

村長 非正規職員と正規職員の格差是正、DXによる業務効率化で職員の負担軽減につながると考えています。

問 村の働き方改革はどの様に取り組まれているのか。

働き方改革について



一般質問



安食 勇 議員

自宅でも出来る気持ちが良い
体操等で健康への促しは

問 フレイルや生活習慣病予防策として健康推進事業が行われています。しかし、多数の住民が参加出来ない実状を踏まえ、併用の取り組みとして、各々の空いている時間帯、又は食後30分位に、自由な動き等、又は座ったままでも少しの体操で健康に繋がるエビデンスが各医療、関係機関において推進されています。今後、周知を図り健康推進に繋ぐ考えは。

とざわで、空いている時間に好きな体操等での健康推進の周知を図っていききたい。



健康福祉課長 村のホームページ、おまめ新聞、広報

停電対応策とした
発電機の在り方は

問 季節を問わず繰り返す災害等での停電。暑くても寒くても命に係る課題。最後のより所は避難所となります。北部・中部・南部、各避難所において収容人数を想定した容量の足りるライフラインとなる発電機の考えは。

村長 各指定避難所の電力にはガス式発電機を備えています。又、戸沢学園、中央公民館には太陽光発電機を備えています。

問 昨年、豪雨で孤立集落となり避難所での発電機が作動しないインシデントが発生しました。住民から、復旧等の見通しを防災無線で伝えて欲しい問い合わせが多数ありました。点検、メンテナンスを含めた対策は。

※インシデント…事故や事件には至らなかったものの、それに繋がりがねない出来事や、問題が発生しそうな状況。

村長 発電機の点検を含め停電の際には東北電力センターと連絡を取り、しっかりと周知を取り組んでいきます。

安全に向けた早期実現
への防災集団移転の
取り組みは

問 各関係機関と連携し必要な情報を共有した救済への取り組みが大切です。住民の不安やストレス、更には流動的な意見や要望等に対して寄り添う対応と出来る限りの救済を図る考えは。

村長 地域の方々に説明責任を果たし、安心してこの事業を進められる様にしっかりと事務方で準備をして進めていきます。

人口減少
若者定住対応について

問 結婚を希望しても出会いの機会がない実状の課題。持続可能な村を維持するた

めにも各関係機関と連携する本腰を入れた施策が必要です。相談窓口を開設して婚活等も含めた住民の悩みに対し取り組む考えは。

村長 A・Iナビやまがたの登録料を支援しています。昨年には婚活に関わる村民主体の団体が立ち上がり、行政とは違う視点の支援をしていただいています。関係機関、関係団体等の協働を強化していきます。

問 定住対策への様々な相談窓口開設としても広く住民に周知させ今後、課題解決が大切です。意見や要望に対し、橋渡しを含めた対応を図る考えは。

村長 相談を希望される方のニーズに答えることが出来る窓口に繋ぐことが必要と考えます。ホームページや広報紙等で適時、適切に周知を図っていきます。

少子化対策について

問 令和5年3月定例会で少子化対策について質問した際の答弁で、未来創造プロジェクト会議や魅力あるとざわ創生推進本部で検討するとありましたが、結果はどうだったのか。

予定です。

問 令和6年度の出生数と出産祝報償の実績はどうだったのか、その実績をみて今後どのような取り組みを考えているのか。

村長 子供の遊び場を含めた子育て交流拠点の整備について検討部会を開催する予定でしたが、災害の影響で開催できずに現在に至っています。

村長 出生数は9名で総額2百万円です。令和6年度から増額しており、近隣町村と同額なので、決して見劣りする金額ではないと考えます。

アンケートの集計は終わっているのですが、未来創造プロジェクト会議の委員が決まり次第、検討部会の開催

検討する部分はありませんが、行政だけではなく勤務先の福利厚生事業としての祝い金などの取組も必要と

考えます。
出産祝報償金が少子化対策に全く効果がないとは言いませんが、あくまでお祝い金なのでご理解いただいていると思います。



問 現在、専門学校や大学等で他県に進学している子供たちが、安心して帰れる村づくりや今まで以上に魅力ある優遇等を考えられないのか。

村長 戸沢村に限らず地方の町村が抱える問題です。村として県外進学者を把握することが難しい事と、近隣市町村に希望する職種があるかどうかが課題です。戸沢村単独で雇用の場の確保は難しく、最上地区や山形県との連携が必要です。

民生委員など、それぞれの体調や家庭の事情等があり、無理にはお願いできないので、対応ができなかった場合はあらためて考えます。

問 出産祝報償は見直して増額しているが、今後の見直しの考えと、育児手当等の更なる充実を考えられるのか。

村長 現時点では考えていません。

少子化対策と子育て支援は別で、一時的な祝い金の増額では、子育ての安心感や満足感を得ることが難しいと考えます。



高齢者等の対応について

問 現在、見守り隊のような高齢者見守り活動事業や一人暮らし高齢者等ふれあい弁当配布事業等ありますが、今後も増加する高齢者等に対応できるような対策はできているのか。

健康福祉課長 タブレットでの対応は渡しても使えないと思うので、考えられません。

民生委員など、それぞれの体調や家庭の事情等があり、無理にはお願いできないので、対応ができなかった場合はあらためて考えます。



一人暮らし高齢者に配布されたプレゼント

一般質問



阿部光樹 議員

一般質問



柿崎英矢 議員

国民健康保険組合・最上地区
広域連合について

問 令和4年9月議会で継続が解散か質問しましたが、現在の進捗状況は。

村長 広域町村の移転時に係る、事務システム改修が追い付かない為に、移転のめどが立っており、当面の間継続し、将来的には解散する予定です。

問 平成19年から広域町村ごとの不能欠損額は。

村長 令和6年度末までの累計は、連合全体で1億8242万1394円で、町

村ごとの内訳が金山町27.3%、真室川町47.7%、鮭川村14.9%、戸沢村10.1%となっています。

問 不納欠損額が全体で1億8千万円以上まで膨れ上がっていると答弁頂きました。そのため、連合保険財産を失っている訳で、現在の不均衡な収納状況をどの様に考えているか。

村長 発足より収納状況に差が出ているのは、構成町村の収納の考えの違いからだと考えています。

問 村内加入者にとっては、保険料（税）は大変な金額です。戸沢村が他の構成町村の負担をしてきたのは言うまでもありません。今後、村内加入者の負担軽減の考えは。

村長 今の制度の趣旨や保険料算定の仕組みを踏まえ、安易に村独自で負担軽減を行う事は考えていません。

問 広域連合の財政調整積立金や国保給付基金積立金（貯蓄）の状況は。

村長 およそ7億3千万円になっています。

問 令和4年から安定的な財政運営の確保を図るため、必要があると認められる場合に積み立てた範囲内で、財政安定化基金取り崩しが出来る、財政調整機能を付与するとあります。

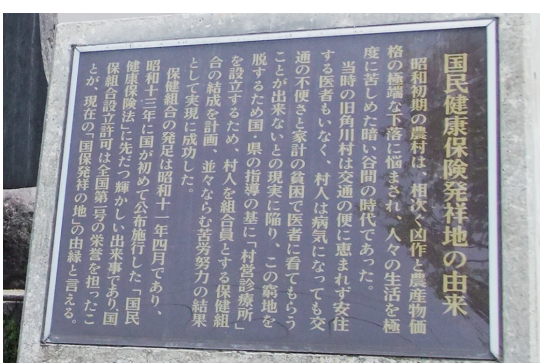
保険加入者の負担軽減につながる制度です。しかし、4町村で運営している以上、戸沢村だけ基金を使う事は出来ないため、解散する前

に基金配分の話は出ているか、又、村長から話が出しているか。

村長 話は出していません。

問 村内加入者のためにも今まで他町村の負担をしてきた分、1円でも多く分けて頂く様に、広域連合に話をして行くと村民に約束してください。

村長 話はしていきたいと思っています。

豪雨災害、集団移転の
進捗状況について

問 2点だけ伺います。一つ目は、仮設住宅、みなし住宅や子育て住宅の家賃が来年10月から被災者負担になるとありますが、集団移転の進み具合が遅れていることから、村負担は考えていないか。

二つ目は、最終新居に引っ越す迄被災者は仮説住宅が狭いため、被災住宅に荷物を保管しています。住宅が完成する迄解体はしない様に。

村長 一つ目の仮設住宅家賃は出来るだけ、負担が無い様に検討していきます。二つ目の被災住宅は新居が完成してからの解体と考えています。



7月1日議員全員で高屋トンネル（猪ノ鼻トンネル東側入口付近）の工事現場を視察しました。進捗状況については、国土交通省新庄維持出張所の担当者より、順調に工事が進み、あと40mで貫通する予定であると説明を受けました。

高屋トンネルを視察

議会日誌（4月～6月）

4月

- 8日 戸沢村立戸沢学園入学式
議会広報常任委員会
- 10日 交通安全旗波作戦
- 16日 議会広報常任委員会
- 18日 最上広域連合議運・全協
- 22日 戸沢村身体障害者福祉協議会総会
- 23日 最上地区広域連合議会臨時会
- 24日 例月出納検査
安全運航祈願祭
- 25日 産業建設委員と県議会との現場視察
- 29日 戸沢村消防団春季消防演習

5月

- 1日 第60回戸沢村観光物産協会通常総会
- 2日 最上地方町村議会議長会臨時総会
- 7日 山形県及び市町村長・議長会議
- 8日 戸沢村老人クラブ連合会総会
- 11日 東京戸沢会総会
- 17日 戸沢村立戸沢学園大運動会
- 21日 例月出納検査
- 22日 議会運営委員会
最上開発協議会総会
- 23日 最上広域市町村圏事務組協議運
国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備
促進期成同盟会総会
- 26日 全員協議会
- 27日～28日 町村議会議長・副議長全国研修会
- 29日 TOZAWAツーリズム協議会総会

- 30日 新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進
同盟会総会
最上市町村議会議長会臨時総会

6月

- 1日 TOZAWAツーリズム協議会下草刈り活動
- 2日 山形県村議会議長会臨時総会
- 6日 令和7年第2回戸沢村議会定例会（1日目）
- 9日 令和7年第2回戸沢村議会定例会（2日目）
総務文教常任委員会・産業建設常任委員会
- 10日 令和7年第2回戸沢村議会定例会（3日目）
- 15日 最上川下流・中流及び日向川水系・月光川
水系緊急治水対策プロジェクト合同着工式
- 18日 最上県勢懇話会例会
- 19日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会総会
- 20日 最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会
最上市町村議長会定期総会
- 21日 J Aまつり
- 22日 第14回議長杯グラウンド・ゴルフ大会
- 23日 最上地区広域連合議運・全協
例月出納検査
- 24日 きららクラブとざわ、戸沢学園輪投げ交流
大会
例月出納検査
- 26日 最上地区広域連合議会定例会
- 27日 最上地区町村監査委員協議会第62回定期
総会
- 28日 庄内町合併20周年記念式典
- 30日 最上広域市町村圏事務組協議会全協



次代を創る若き経営者

(有)ナガサワ電機

代表取締役 長 澤 繁 美



会社の沿革

昭和48年、国道47号線沿いの黒淵に店舗を構えて長澤澄夫氏が創業、昭和55年現在地に移転して営業、令和5年から長澤繁美氏が家庭電化製品の販売・修理とリフォーム工事等の事業を行っています。

長澤繁美氏のコメント

お客様とは、親切丁寧に対応し、「人と人とのつながり」を大切にしたい仕事で地域貢献が出来ればと心がけて業務に励んでいます。

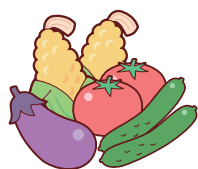


議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

9月10日(水)～17日(水)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局
☎72-2113にお問い合わせください。



田んぼの稲が生長し、村内一面が緑色に輝いています。
毎日厳しい暑さが続いています。体温を下げる食べ物としては、夏野菜やくだものが効果的と言われています。
バランスの取れた食事と、こまめな水分補給で、暑い夏を乗り切りましょう。

議会広報常任委員
荒木 誠

編集後記

第14回 戸沢村議会議長杯 グラウンド・ゴルフ交流大会結果

【男子の部】

- | | |
|-----|------|
| 1位 | 木村千秋 |
| 2位 | 長澤勇夫 |
| 3位 | 高橋孝利 |
| 4位 | 荒川知也 |
| 5位 | 荒川喜一 |
| 6位 | 堀米孝史 |
| 7位 | 加藤文明 |
| 8位 | 増山博保 |
| 9位 | 小野宏 |
| 10位 | 安食久夫 |

【女子の部】

- | | |
|-----|-------|
| 1位 | 安食克子 |
| 2位 | 堀米とみ子 |
| 3位 | 柿崎侁子 |
| 4位 | 庄司初江 |
| 5位 | 大川美知子 |
| 6位 | 荒川孝子 |
| 7位 | 和田紀恵子 |
| 8位 | 中鉢和歌子 |
| 9位 | 小野ふみ子 |
| 10位 | 加藤清美 |

総合優勝の木村千秋さんに議長から優勝カップが送られました。



表紙の言葉

6月24日、きららクラブとざわ、戸沢学園輪投げ交流会が開催されました。各チームに学園1年生と議員が入り、一緒にワナゲを楽しみました。世代を超えた笑顔あふれる素敵な交流ができました。